

政治学 I 2021 年度

対面での試験が実施できなかったため、変則的な方式を採った。

WebClass の機能を使ったオンライン試験を 3 回に分けて実施した。試験は授業時間割の時間中に行い、各回の試験時間は 8-12 分程度、アクセスの集中を避けるためにグループごとに分けて実施した。

3 回の合計の設問数は 100 で、配点は各 1 点とし、基本的な素点として合計 100 点分が行われた。

ただし、通信環境の問題などで指定した時間での試験を受けられなかった人には相応の配慮をした。

各回の設問・解答形式は全て同じで、提示された文章が正しいか否かを選択させるものである。

なお、全体としての評価点数は、この試験に加えて、毎回の小テスト(出席確認)とチャットでの意見交換セッションへの参加などを総合的に検討した結果である。

以下に試験問題の一部を例示する。

次の文章が正しいと考えるときは選択肢の 1 を、誤っていると考えるときは選択肢の 2 を選びなさい。

1. デモクラシーは自由主義とは関係ない。
2. マックス・ウェーバーの政治の定義には、国家の役割が深く関係している。
3. J.S.ミルは、自由主義と民主主義の結合を支持し、男女の普通選挙の実施を急ぐよう主張した。
4. ギリシア・ボリスでの直接民主主義は、政治的共同体としての意味合いが濃厚で、後の時代の国家の枠組みが State として被治者を含まない面が強いのは対照的である。
5. ポピュリズムは、新しいイデオロギーの可能性の提供を行うものの、周辺的な抑圧された人々の政治参加はもたらさない。